

町田市内の“木”で目指す、持続可能なみどりの新たなカタチ。



町田市と学校法人玉川学園による『「まちだの木」活用プロジェクト』と『Tamagawa Mokurin Project』の木に関する取組で推進する新たな資源循環事業連携協定

町田市では、維持管理により伐採した公共空間の樹木等を「まちだの木」として新たな価値を与え、活用・循環していくことを目的とした取組『「まちだの木」活用プロジェクト』を立ち上げ、木材活用の検証や普及・啓発活動を行っています。

学校法人玉川学園では、学園敷地内の樹木の活用と循環を目的とした活動『Tamagawa Mokurin Project』に積極的に取り組み、木材活用をはじめとした教育・研究・地域連携・環境保全活動を一体的に推進しています。

市内の樹木の活用と循環という共通使命を持つパートナーとして、町田市と学校法人玉川学園が相互に連携及び協力し、教育活動や共同研究など様々な取組に共に挑戦することで、豊かな自然環境と教育機関、活気ある市民社会を持つ町田市のポテンシャルのひとつである市内の木と森を軸とした持続可能な社会の形成や、環境・地域社会の発展への貢献を目指していきます。